



ことばかけのヒント



子育てをしている中で、「ことばが遅いんです」とか「なんて言葉かけしたらいいかわからなくて」という事をよく聞きます。そこで今回は、ことばかけのためのヒントを考えていきましょう。

ことばは、人と人との関わりの中で、気持ちが動くことで声を発したり、周りの大人の真似っこをしたりして、習得していきます。今回は、その関わり方をいくつか紹介します。

① 赤ちゃんの動きをまねてみる

赤ちゃんは自分と同じ動きをしてくれるおとなやこどもに興味を持ち、その姿を観察しながら、声を出したり、誘いかけてきたりします。

② 赤ちゃんの出す声や音を真似てみる



赤ちゃんがご機嫌な時に出す「あーあー」「プープー」といった声を真似してあげると、「音を出す」ことを楽しむようになります。

③ 赤ちゃんの気持ちをことばで言うてみる



赤ちゃんがおやつを食べながら幸せそうな顔になったら「おいしいね」と言ってあげましょう。

④ 大人が自分の行動をことばで言うてみる

「いっしょにねんねしようね」「お布団ふかふかで気持ちいいよ。」などと自分の行動を実況中継のように口にする、そんな大人の姿を見て、ことばの意味を知るようになります。

⑤ 間違えたことばをさりげなく直す

子どものことばに間違いがあっても言い直させたり、訂正するのではなく、さりげなく言い直して返してあげましょう。

⑥ 子どものことばを広げて返してあげる

子：「ワンワン！」
母：「ほんとだ、かわいい犬だね、ワンワンって鳴くね。楽しそうだね。」というように、話題を少し広げて返してあげましょう。



母子健康手帳を受け取られてから、子どもさんが18歳に成長するまで「妊娠から子育てのこと」を一緒に考えていきましょう！
いつでも訪ねてきてください。

お電話でもOKです。TEL 0533-56-2305



↑ うみのこ
ホームページ